学校番号	3035

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）日本史演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『日本史探究』（実教出版）						
副教材等	『図説日本史通覧』（帝国書院） 『日本史用語集』（山川出版社） 『新日本史研究ノート[標準編]』（啓隆社） 『詳録新日本史史料集成』（第一学習社） 『共通テスト実力トレーニング日本史　2026』（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本の社会の枠組みの変遷と、各時代の特徴を理解しよう。
・理解の出発点として、各時代の歴史的事象に「なぜ」の視点を持とう。
・世界史（特に東アジア史）の動きのなかで、日本史が展開されていく視点を持ち、現在の日本の在り方を考えよう。
・授業の前に教科書を読み（予習）、集中して授業を受けて学習内容を理解する（授業）、次に授業プリントを参照しながら教科書を何度もじっくり読みこみ、学習内容を確認・理解する（復習）。この予習→授業→復習のリズムを確立させること。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　日本の古代・中世・近世の文化及び現代史と私たちの関わりについて、各時代における地理的条件や世界の歴史と関連付けながら知識を獲得し、またその技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
　日本の歴史の展開について、文字史料、遺跡・遺物など様々な歴史資料を活用する技能を習得するとともに、それらを用いて歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする思考力・判断力や、考察、構想を効果的に説明したり、それらを基に議論したりする表現力及びそれらに自ら取り組む主体性を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　文化財保護の重要性を理解しながら日本の歴史や文化に対して関心を持つ主体性を養う。国際社会及び平和で民主的な国家・社会を形成する公民としての自覚と資質及び主体性を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、自ら課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、文化及び文化財の継承と保護の重要性についての理解を培う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	前近代の文化的特質	・律令国家形成期の文化的特質 ・摂関政治の形成期及び展開期の文化的特質 ・中世における文化的特質 ・近世における文化的特質 ・問題演習	a:日本の前近代の文化を飛鳥・白鳳・天平・弘仁貞観・国風・院政期・鎌倉・南北朝・北山・東山・桃山・寛永期・元禄・宝暦天明・化政に分類し、それぞれの特質について理解するとともに、各文化に関する情報を適切かつ効果的に調べ、政治体制や社会・経済史及び諸外国との関わりをふまえてまとめる技能を身につけている。 b:日本の前近代の文化を飛鳥・白鳳・天平・弘仁貞観・国風・院政期・鎌倉・南北朝・北山・東山・桃山・寛永期・元禄・宝暦天明・化政に分類し、各文化に関して設定された主題について、各文化の特質の連続性と相違点及び現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたり、問題演習を通じて多角的に考察し説明・議論することができる。 c:日本の前近代の各文化について通観する問いを表現し、主体的に追究している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度

後期	現代日本の課題の探究	・占領下の日本 ・高度成長の時代 ・激動する世界と日本 ・問題演習	a:第二次世界大戦後から現代に至る政治的段階のそれぞれにおいて、その特質を理解するとともに、各段階に関する情報を適切かつ効果的に調べ、社会・経済史及び諸外国との関わりをふまえてまとめる技能を身につけている。 b:第二次世界大戦後から現代に至る政治的段階のそれぞれに関して設定された主題について、各段階の特質の連続性と相違点及び現在とのつながりに着目しつつ、問いを表現したり、概念を用いたり、問題演習を通じて多角的に考察し説明・議論することができる。 c 第二次世界大戦後から現代に至る政治的段階のそれぞれについて通観する問いを表現し、現代日本の課題の形成に関わる歴史を理解したうえで、平和で民主的な国家・社会を形成する公民としての自覚と資質の獲得を主体的に追究している。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 授業内討論 ・発表等	ワークシート 提出課題 授業内討論 ・発表等 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度